

第62回 ゴム技術功績賞受賞候補者推薦のお願い

ゴム技術功績賞は、本会創立35周年を記念してゴム技術有功賞として設立され、2020年に現在の名称に変更されました。本賞は、ゴム及びプラスチック工業に関連する技術の向上に顕著な功績があり、日本ゴム協会及び日本ゴム工業界に貢献のあった本会会員の方々に授与してまいりました。

このたび第62回ゴム技術功績賞受賞候補者の推薦を下記より受け付けますので、会員各位には広く受賞候補者の推薦をお願い申し上げます

推薦締切 2023年11月30日

※推薦用紙は、日本ゴム協会ホームページ「日本ゴム協会の概要」→「顕彰」→「推薦書・申請書」よりご使用いただけます。

推薦先 一般社団法人日本ゴム協会 ゴム技術功績賞委員会

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル E-mail : office@srij.or.jp

ゴム技術功績賞受賞者選定規定（抜粋）

1. ゴム技術功績賞(以下、本賞という)は、日本ゴム協会創立35周年を記念してゴム技術有功賞として設立され、2020年に現在の名称に変更した。本賞は、ゴム及びプラスチック工業に関連する技術の向上に顕著な功績があり、日本ゴム協会及び日本ゴム工業界に貢献のあった本会会員に授与する。
2. 本賞の授与は、毎年2件以内とする。ただし、当該年度に受賞者がない場合は、これを行わない。
3. 本賞の受賞候補者は、次のいずれかに該当する推薦人が、本会会長あて所定の書式により推薦する。その締切は、授与される前年の11月30日までに事務局あて到着したものとする。
 - (i) 本会会員
 - (ii) 本会役員、研究部会主査
4. 推薦される候補者は、賞を授与される前年の11月30日現在、本会会員でなければならない。
5. 会長は推薦候補者をゴム技術功績賞委員会に審議を委嘱し、同委員会は推薦候補者の中から受賞候補者を選定する。
6. 委員会は、委員長1名を含む委員15名以上20名以内で、毎年6月までに構成する。
7. 委員長は、理事、もしくは理事経験者の中より会長が委嘱する。
8. 委員は、委員長が推薦し、理事会の承認を得て会長が委嘱する。
9. 被推薦者は、委員及び臨時委員になることができない。
10. 委員会は、内規第5条第2項に定める残った推薦候補者の推薦理由書を全委員に配付し、その中から受賞の価値あると認めた受賞候補者2件以内を委員長を除く全委員の無記名投票によって選定する。この場合、得票数同数のときは委員長が決定する。
11. 委員長は、選定された受賞候補者を選定理由書を付け

て会長に報告する。

12. 会長は、推薦された受賞候補者を理事会に諮り受賞者を決定する。
13. 本賞受賞者には、定時社員総会において受賞者に表彰状及び賞金を授与する。委員長は、定時社員総会において選考経過を公表し、日本ゴム協会誌に発表する。

「附 則」

本賞の賞金は、精工化学株式会社から寄付の基金をもってあてる。

2020.9.一部改訂

推薦の参考資料

過去10年間のゴム技術有功賞受賞者

- | | |
|-------------|-------------|
| 第52回 竹村泰彦氏 | 第58回 受賞該当なし |
| 第53回 阿波根朝浩氏 | 第59回 芥川恵造氏 |
| 第54回 藤道治氏 | 〃 高木康彦氏 |
| 〃 吉川文隆氏 | 第60回 受賞該当なし |
| 第55回 受賞該当なし | 第61回 平田靖氏 |
| 第56回 國武典彦氏 | 〃 隠塚裕之氏 |
| 第57回 受賞該当なし | |